

21 良好な市街地の形成			
主管課名	都市整備部 都市計画課		
主管課長名	鈴木 紀恵	電話番号	042-481-7440
関係課名 (組織順)	産業振興課, 農政課, 環境政策課, 緑と公園課, 住宅課, 街づくり事業課, 道路管理課, 建築指導課		
目的	対象	市内全域	
	意図	便利で快適になる	
施策の方向	都市計画の最上位計画である調布市都市計画マスタープランを基本として、適切な土地利用を推進するとともに、市民の身近な景観の価値を高める景観街づくりを推進し、利便性と快適性を兼ね備えた良好な市街地を形成します。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和2年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績					
施策における2つのアクション (①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)					
(21-1 適正な土地利用の推進)					
都市計画マスタープランは都市計画法第18条の2により市の都市計画（まちづくり）分野の最上位計画として平成10年6月に策定し、以後変化のあった社会経済情勢やまちづくりの動向などを踏まえ平成26年9月に改定を実施しており、令和4年度に目標年次を迎えることから、次期マスタープランの策定に向けた調査・検討を行った。					
①横断的連携による施策の推進					
土地利用については、令和5年度からの次期総合計画（基本構想・基本計画）の策定における前提の一つとなることから、総合計画策定の取組との情報共有など、組織横断的な連携を図りながら、次期マスタープランの検討に取り組んだ。					
(21-2 景観まちづくりの推進)					
景観計画・景観条例の運用については、景観行政団体として景観計画や景観条例などの景観法に関連する諸制度を活用し、景観アドバイザーからの助言等を踏まえ、事業者との協議・調整をすることで、良好な景観形成を推進した。 令和2年度は、令和元年度から引き続き、調布市景観計画に位置付けた「駅」の景観形成推進地区における景観形成方針や景観形成基準の見直しに向けた調査・検討を行った。					
< 令和2年度における施策の成果についての総括 >					
<ul style="list-style-type: none"> 各分野の過去10年間における取組や事業の進捗、主要指標の変化を基礎データ集として取りまとめるとともに、次期マスタープラン策定に向けて主要課題の整理を行った。 次期マスタープランの策定に併せた、土地利用方針の検討及び令和6年度の用途地域等地域地区の見直しを見据え、まちづくりにおける用途地域等地域地区の課題抽出を行った。 景観形成推進地区の見直し検討として、市内京王線9駅周辺地区における現状を整理するとともに、他市の駅周辺景観計画における規制・誘導事例などの先進事例や参考となる基礎データの収集を行った。 景観まちづくりの取組として、調布市景観計画に位置付けた「駅」の景観形成推進地区における景観形成方針や景観形成基準の見直しに向けた調査・検討を行った。 					
まちづくり指標	基準値	単位	実績値		目標値
	(基準年度)		令和元年度	令和2年度	令和4年度
1 住みやすいと感じている市民の割合	93.0 (H30)	%	94.2	94.1	95.0
2 市内に優れた景観があると感じている市民の割合	82.5 (H30)	%	85.1	82.1	90.0
【特記事項】					

2 基本計画事業取組実績

計画コード	66	重点P	-	-
事務事業	都市計画マスタープランの運用			
所管部署	都市整備部・都市計画課・都市計画係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○都市計画マスタープランの運用、策定 ○用途地域等に関する指定方針・指定基準の策定、運用	○都市計画マスタープランの運用 ○用途地域等に関する指定方針・指定基準の運用・検討	○都市計画マスタープランの運用、策定検討 ○用途地域等に関する指定方針・指定基準の検討 ○用途地域の見直し検討	○都市計画マスタープランの運用、策定検討 ○用途地域等見直し検討
		事業費 (千円)	8,000	20,000
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

計画コード	67	重点P	-	-
事務事業	地区計画制度を活用した街づくり			
所管部署	都市整備部・都市計画課・市街地整備係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○地区計画制度を活用した街づくりの推進	○多摩川住宅地区の検討 ○柴崎駅周辺地区の検討 ※N○79(道路ネットワークの形成)と連動 ○調布駅周辺地区の検討 ○京王多摩川駅周辺地区の検討 ○深大寺周辺地区の検討 ○国領町8丁目周辺地区の検討 ○西調布駅周辺地区の検討 ※N○79と連動 ○その他地区の検討 ○地区施設等測量	○多摩川住宅地区の検討 ○柴崎駅周辺地区・つつじヶ丘駅周辺地区の検討 ○調布駅周辺地区の検討 ○深大寺周辺地区の検討 ○国領町8丁目周辺地区の検討 ○その他地区の検討 ○地区施設等測量	○多摩川住宅地区の検討 ○柴崎駅周辺地区・つつじヶ丘駅周辺地区の検討 ○調布駅周辺地区の検討 ○京王多摩川駅周辺地区の検討 ○国領町8丁目周辺地区の検討
		事業費 (千円)	20,000	21,823
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

計画コード	68	重点P	⑤	人と自然が共生するうるおいのあるまち
事務事業	景観計画・景観条例の運用			
所管部署	都市整備部・都市計画課・開発景観係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○景観法を活用した景観まちづくりの推進	○景観計画に基づく届出制度の運用 ○景観形成推進地区(駅)の景観形成基準の改定 ○景観学習の推進	○景観計画に基づく届出制度の運用 ○景観形成推進地区(駅)の景観形成基準の改定 ○景観学習の推進	○景観計画に基づく届出制度の運用 ○景観形成推進地区(駅)の景観形成基準の改定検討 ○景観学習の推進
		事業費 (千円)	6,000	4,500
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

(施策21 良好な市街地の形成)

計画コード	69	重点P	-	-
事務事業	公共サイン計画の検討・運用			
所管部署	都市整備部・都市計画課・開発景観係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○公共サインの整備及び計画的な維持管理	○競技会場周辺の公共サイン運用 ○中心市街地におけるサイン整備	○競技会場周辺の公共サイン運用 ○中心市街地におけるサイン整備	○競技会場周辺の公共サイン運用 ○布田駅周辺誘導サイン1基設置
	事業費 (千円)	10,000	1,000	924
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

22 地域特性を生かした都市空間の形成			
主管課名	都市整備部 街づくり事業課		
主管課長名	加藤 舞	電話番号	042-481-7401
関係課名 (組織順)	産業振興課, 下水道課, 都市計画課, 住宅課, 道路管理課, 交通対策課		
目的	対象	市内全域	
	意図	地域特性を踏まえ、多様な機能が調和し、人々が集い、活気とにぎわい、うるおいとやすらぎがある京王線の地下化に伴う調布のまちの都市構造の大きな変貌を契機とした南北一体のまちづくりを前進させるため、駅前広場や鉄道敷地周辺への都市機能の集積や、ゆとりある空間の確保により、魅力ある中心市街地を形成するとともに、地域の特性を生かした質の高い都市空間を形成します。	
施策の方向			

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和2年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション (①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)	
<p>(22-1 魅力的な中心市街地の形成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調布駅前広場整備について、令和2年度までに実践した市民参加でいただいた御意見や、関係機関等との協議を踏まえ、整備計画図を決定した。 鉄道敷地整備について、オープンハウスやアンケート調査等による市民参加を実践し、区間 A（鶴川街道～調布西第2路上自転車等駐車場）について具体的な整備計画の検討を進めた。 調布駅、国領駅周辺の区画道路等の整備を進め、交通の円滑化及び中心市街地の活性化に寄与した。 	
<p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2 「にぎわいとうるおいのあるまちづくり」</p> <p>調布駅前広場整備について、庁内関連部長会議を開催し、環境空間整備の方向を確認しながら整備計画図を決定した。また、詳細の検討事項については、次長・課長級で構成する連絡調整会議で調整を図った。</p>	
<p>②調布のまちの魅力発信</p> <p>東京都内でも有数の規模を誇る調布駅前広場について、道路としての交通結節機能だけでなく、環境空間としての広場機能の充実を図る計画とすることで、まちの魅力発信につなげた。</p>	
<p>(22-2 駅周辺におけるまちづくり)</p> <p>つつじヶ丘駅南側の都市計画道路（調布3・4・21）については、用地取得を進めるとともに、東部地区については、将来的なまちづくりの展望の下、つつじヶ丘・柴崎駅周辺における抜本的な踏切対策や沿線まちづくりなど、交通環境の改善に向けた検討を進めた。</p>	
<p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2 「にぎわいとうるおいのあるまちづくり」</p> <p>東部地区の交通環境改善について、都市整備対策協議会で現在の状況や今後の取組を情報共有するとともに、国土交通省、東京都及び京王電鉄(株)と連携し、交通環境改善の実現に向けて取り組みを進めた。</p>	
<p>(22-3 深大寺地区におけるまちづくり)</p> <p>自然環境と調和した歴史的な風情を感じさせる深大寺周辺の街なみ景観の維持・向上を図るため、調布市深大寺地区街なみ整備基本計画及び調布市深大寺地区公共サイン整備計画に基づき、安全安心に深大寺地区を回遊できる環境の整備を推進し、ユニバーサルデザインに対応した誘導サインの作成・設置を行った。</p>	
<p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2 「にぎわいとうるおいのあるまちづくり」</p> <p>深大寺地区におけるまちづくりについて、神代植物公園を管理している東京都や地域と連携を図り、深大寺地域の回遊性の向上や街なみ・景観に配慮したまちづくりを推進した。</p>	
<p>< 令和2年度における施策の成果についての総括 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 調布駅前広場については、これまでの市民参加の取組や関係団体との意見交換を重ね、整備計画図を決定するなど、令和7年度の完成に向けて着実に事業を推進した。 鉄道敷地整備については、測量及び用地取得を進めるとともに、様々な手法を組み合わせた市民参加を実践し、具体的な整備計画の検討を行うなど、今後の緑道整備に向けた取組を行った。 調布駅、国領駅周辺の区画道路等の整備を進め、交通の円滑化及び中心市街地の活性化に寄与した。 深大寺地区における街なみ環境整備事業として、区域内（深大寺元町5丁目）に5箇所の公共サイン案内板を作成・設置した。 	

まちづくり指標	基準値 (基準年度)	単位	実績値		目標値
			令和元年度	令和2年度	令和4年度
1 中心市街地が魅力的であると感じている市民の割合	67.8 (H30)	%	67.1	68.1	80.0
2 駅周辺の利便性が高いと感じている市民の割合	67.0 (H30)	%	69.7	70.9	80.0
3 深大寺周辺の景観が優れていると感じている市民の割合	89.0 (H30)	%	89.6	89.6	90.0
【特記事項】					

2 基本計画事業取組実績

計画コード	70	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち
事務事業	駅前広場の整備			
所管部署	都市整備部・街づくり事業課・整備係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○調布駅前広場 ○布田駅前広場 平成26年度道路部完成 平成28年度上屋工事 平成29年度上屋完成 ○国領駅前広場 平成27年度道路部完成 平成28年度完了,上屋工事 平成29年度上屋完成 ○調布駅開口部 ○その他	○調布駅前広場 ・北側：設計 ・南側：設計等 ○広場空間機能の検討	○調布駅前広場 ・基本設計修正 ・電線共同溝設計 ・利活用検討調査 ○広場空間機能の検討	○調布駅前広場 ・基本設計修正 ・電線共同溝設計 ・利活用検討調査 ・市民参加の実施 オープンハウス ギャラリー展示 アンケート調査 ○広場空間機能の検討
	事業費 (千円)	139,200	105,979	109,740
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	71	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち
事務事業	鉄道敷地の整備			
所管部署	都市整備部・街づくり事業課・整備係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○鉄道敷地の整備	○鉄道敷地の整備 ・緑道 測量設計・用地取得 等	○鉄道敷地の整備 ・緑道・生活道路等 測量・設計・用地取得	○鉄道敷地の整備 ・緑道・生活道路等 測量・設計・用地取得
	事業費 (千円)	544,429	528,776	512,701
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	72	重点P	-	-
事務事業	面的整備手法を活用したまちづくりの促進			
所管部署	都市整備部・街づくり事業課・整備係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	<ul style="list-style-type: none"> ○調布駅北第1A地区市街地再開発事業の促進 ○調布駅北第1B地区市街地再開発事業の促進 ○調布駅南口東地区市街地再開発事業の促進 ○調布駅南口中央地区の基礎調査 	<ul style="list-style-type: none"> ○調布7・5・1号線の整備・事業用地管理 ○調布駅南口中央地区の検討調査 	<ul style="list-style-type: none"> ○調布7・5・1号線設計・事業用地管理 	<ul style="list-style-type: none"> ○調布7・5・1号線事業用地管理
	事業費 (千円)	14,000	13,480	42,897
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	73	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち
事務事業	中心市街地における区画道路等の整備			
所管部署	都市整備部・街づくり事業課・整備係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	<ul style="list-style-type: none"> ○調布区画1号 ○調布区画2号 ○調布区画3号 ○調布区画7号 ○調布区画9号 ○調布区画11号 ○調布区画12号 ○調布区画13号 ○国領歩専道1号 ○国領歩専道2号 ○国領区画街路6~8号の間 ○市道西100号線 ○その他 	<ul style="list-style-type: none"> ○調布駅周辺の区画道路等の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・調布区画道路2号 ・市道南138号ほか1路線 ・市道南139-8号線ほか1路線 ・布田2・3丁目地内道路 ○国領駅周辺の区画道路等の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・国領歩専道2号 	<ul style="list-style-type: none"> ○調布駅周辺の区画道路等の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・調布区画道路12号 ○国領駅周辺の区画道路等の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・国領歩専道2号 	<ul style="list-style-type: none"> ○調布駅周辺の区画道路等の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・調布区画道路12号(測量等) ○国領駅周辺の区画道路等の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・国領歩専道2号
	事業費 (千円)	501,446	34,291	28,596
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	74	重点P	-	-
事務事業	交通環境の改善による駅周辺のまちづくり			
所管部署	都市整備部・都市計画課・市街地整備係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○駅周辺におけるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○交通環境改善に向けた検討(柴崎駅) ○交通環境改善に向けた検討(西調布・つつじヶ丘駅) 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通環境改善に向けた検討(柴崎駅・つつじヶ丘駅) ※事業費はNo.67「地区計画制度を活用した街づくり」に計上 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通環境改善に向けた検討(柴崎駅・つつじヶ丘駅) ※事業費はNo.67「地区計画制度を活用した街づくり」に計上
	事業費 (千円)	5,000	0	0
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	75	重点P	⑤	人と自然が共生するうるおいのあるまち		
事務事業	深大寺地区におけるまちづくりの推進					
所管部署	都市整備部・都市計画課・市街地整備係					
活動内容	計画目標	令和2年度				
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)		
	○深大寺地区におけるまちづくりの推進	○街なみ環境整備事業の実施 ・街なみ整備助成事業 ・公共サイン整備(案内看板) ・道路の美化 ○深大寺地区の街づくり検討	○街なみ環境整備事業の実施 ・街なみ整備助成事業 ・公共サイン整備(案内看板) ・道路の美化(測量) ○深大寺地区の街づくり検討	○街なみ環境整備事業の実施 ・公共サイン整備(案内看板5基) ○深大寺地区の街づくり検討		
	事業費(千円)	10,200	12,895	10,702		
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0		

23 良好な住環境づくり			
主管課名	都市整備部 住宅課		
主管課長名	山田 鑑三	電話番号	042-481-7544
関係課名 （組織順）	総合防災安全課, 高齢福祉担当, 障害福祉課, 環境政策課, 都市計画課, 街づくり事業課, 建築指導課		
目的	対象	市民	
	意図	安全で安心して快適に住み続けられる	
施策の方向	住宅の「質」の向上を推進し、住宅の耐震化、バリアフリー化、省エネルギー化を進めることにより、安全・安心で災害に強い良質な住環境づくりを推進するとともに、既存住宅ストックの活用や、超高齢社会に対応する住環境を形成します。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和2年度の振り返り — 取組実績（DO）

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
<p align="center">施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）</p>	
<p>（23-1 安全・安心な住環境づくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業では、耐震診断、補強設計、耐震改修を促進し、令和2年度末時点の耐震化率は47.9%と前年度から2.8ポイント上昇した。 木造住宅の耐震化では、平成29年度からの4箇年事業である戸別訪問事業について、コロナ禍を踏まえ書面等による非対面方式に変更し、耐震化に向けた助成制度をはじめとする支援制度等の周知・啓発を図った。 分譲マンションの耐震化では、マンション管理組合に対して、支援制度の周知・啓発を図るとともに、平成30年度からの3箇年事業である旧耐震基準の分譲マンション管理組合等への訪問事業について、コロナ禍を踏まえ書面等による非対面方式とした。また、東京都と連携し都条例に基づく管理状況等の把握に努めた。 	
<p>（23-2 良好な居住環境の形成と支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> 居住環境改善の取組については、高齢化社会への対応を目的として、個人住宅等のバリアフリー適応住宅改修工事費用の一部を助成することにより、良好な居住環境の整備と支援に取り組んだ。 省エネルギー事業については、低炭素まちづくり及び環境負荷の軽減として、太陽光発電設備の取り付けや民生用燃料電池購入に対する補助を実施し、環境に配慮した快適な居住環境の整備と支援に寄与した。 住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居等を促進するため、居住支援協議会を中心に検討を進め、仲介手数料や債務保証料に対する助成を拡充した。 <p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ 「地域共生社会の実現に向けた取組」</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への入居支援について、調布市居住支援協議会において今後の支援策等を検討し、更なる取組の充実を図った。 	
<p>（23-3 空き家対策の推進）</p> <ul style="list-style-type: none"> 調布市ならではの空き家等対策の取組を推進するため、空き家等対策に関する理念や危険な空き家等に対する措置、行政、所有者、市民の義務を定めた「空き家等の対策の推進に関する条例」及び、空き家の予防保全、利活用等に係る空き家等対策計画の初年度として、空き家等対策協議会や特定空き家審査会を開催するとともに、空き家実態調査をはじめ、ワンストップ相談窓口の設置、空き家LINE公式アカウントの制作、富士見町地区におけるエリアリノベーション事業など、多様な主体と連携した事業展開を図った。 <p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理不全の空き家は、火災や犯罪のリスク・倒壊危険、不法投棄、樹木等の繁茂等の複数の特性を有する事案が多く、庁内関係部署との情報共有や更なる連携が重要となることから、空き家の予防や利活用対策の視点を持ちつつ、組織横断的な連携の下、各種の対策等を検討した。 	
<p>< 令和2年度における施策の成果についての総括 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業における取組では、耐震化率が2.8ポイント上昇した。 木造住宅の耐震化に関する耐震診断の補助件数が大幅に増加した。 居住環境改善の取組では、太陽光発電設備等に関する補助件数が前年度より増加した。 住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への入居支援について、賃貸オーナーや協力不動産店の協力により、前年度同様の成約率が確保できた。また、契約時における入居者の負担軽減を図るため、仲介手数料や債務保証料についての助成の拡充を行った。 特定空き家等対策については、特定空き家審査会において検討を行い、認定基準等を策定した。 空き家等施策については、産学官連携による空き家の未然防止や利活用に向け、LINE公式アカウントの制作をはじめ、ワンストップ相談窓口の設置、富士見町地区におけるエリアリノベーション事業など各種取組を行った。 	

まちづくり指標	基準値 (基準年度)	単位	実績値		目標値
			令和元年度	令和2年度	令和4年度
1 市内の住宅（一戸建て、分譲マンション等）の耐震化率	85.8 (H29)	%	87.5	88.9	97.0
2 バリアフリー対応住宅に住んでいると答えた市民の割合	51.7 (H30)	%	48.9	49.1	65.0
3 空き家とならないための予防策が必要であると感じている市民の割合	-	%	67.6	61.4	80.0
【特記事項】					

2 基本計画事業取組実績

計画コード	76	重点P	-	-
事務事業	住宅の耐震化の促進			
所管部署	都市整備部・住宅課・住宅支援係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○令和4年度末木造住宅及び分譲マンション等の住宅耐震化率 97パーセント ※平成30年度末 93パーセント	○木造住宅の耐震化普及啓発 耐震7ト`ハ`イ` - 50件 耐震診断 20件 耐震改修 5件 ○分譲マンション耐震化普及啓発 耐震7ト`ハ`イ` - 5件 耐震診断 4件 補強設計 1件 耐震改修 1件	○木造住宅の耐震化普及啓発 耐震7ト`ハ`イ` - 50件 耐震診断 20件 耐震改修 13件 ○分譲マンション耐震化普及啓発 耐震7ト`ハ`イ` - 5件 耐震診断 4件 補強設計 1件 耐震改修 1件	○木造住宅の耐震化普及啓発 耐震7ト`ハ`イ` - 45件 耐震診断 20件 耐震改修 10件 ○分譲マンション耐震化普及啓発 耐震診断 4件 耐震改修 1件
	事業費 (千円)	41,940	48,498	33,971
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

計画コード	77	重点P	-	-
事務事業	良好な居住環境の形成・支援			
所管部署	都市整備部・住宅課・住宅支援係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○住宅のバリアフリー化向上 ○太陽光発電設備取付け促進 ○住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進	○居住環境支援事業バリアフリー 55件 ○環境負荷軽減促進事業太陽光発電 30件 民生用燃料電池 130件 ○居住支援協議会運営相談窓口事業助成金等	○居住環境支援事業バリアフリー 70件 ○環境負荷軽減促進事業太陽光発電 30件 民生用燃料電池 130件 ○居住支援協議会運営相談窓口事業助成金等	○居住環境支援事業バリアフリー 78件 ○環境負荷軽減促進事業太陽光発電 68件 民生用燃料電池 159件 ○居住支援協議会運営相談窓口事業仲介支援 4件 債務保証 3件
	事業費 (千円)	16,711	17,174	20,996
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

計画コード	78	重点P	-	-
事務事業	空き家等対策の推進			
所管部署	都市整備部・住宅課（及び建築指導課）・空き家施策担当			
活動内容	計画目標 ○空き家等対策計画の検討 ○協議会の設置 ○実施体制と法令整備	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
		○空き家等対策計画に基づく取組の推進 ○空き家等対策推進協議会の運営	○空き家等対策計画に基づく取組の推進 ○空き家実態調査の実施 ・空き家等対策検討調査 ・空き家等対策流通モデル構築 ・空き家等対策予防モデル構築事業 ・特定空き家等対策 ○空き家等対策推進協議会の運営	○空き家等対策計画に基づく取組の推進 ○空き家実態調査の実施 ・空き家等対策検討調査 ・空き家対策リアルバケーションモデル事業 ・空き家等対策予防モデル構築 ・特定空き家等対策 ○空き家等対策推進協議会の運営
	事業費 (千円)	1,677	50,524	43,640
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

24 安全で快適なみちづくり			
主管課名	都市整備部 道路管理課		
主管課長名	戸谷 恒一郎	電話番号	042-481-7407
関係課名 (組織順)	総合防災安全課, 都市計画課, 用地課, 街づくり事業課		
目的	対象	市内全域の道路	
	意図	安全, 快適, 円滑に通行できる	
施策の方向	周辺環境への配慮と歩行者空間の確保を図りながら, 円滑に移動できる道路網の整備を計画的に進め, 歩行者・自転車・自動車など道路を利用するすべての人たち並びに沿道住民にとって, 安全で快適なみちづくりを推進するとともに適切な維持管理に取り組みます。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和2年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション (①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)	
(24-1 円滑に移動できる道路網の整備)	<ul style="list-style-type: none"> 生活道路, 区画道路, 都市計画道路整備を推進し, 交通の円滑化, 歩行者の安全確保, 回遊性の向上等を図った。 調布市道路網計画で位置付けた廃止候補路線について, 都市計画の変更を実施した。また, 計画検討路線について, オープンハウス等を活用した市民参加に取り組みつつ, 都市計画の見直し方針を策定した。 若葉小学校周辺等において, カラー舗装の施工等, 機能確保の取組を実施し, 児童の安全性向上に寄与した。
①横断的連携による施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■連携テーマ2 「にぎわいとuringおいのあるまちづくり」 交通環境の向上を図るため, 「調布市道路網計画」に基づき都市計画道路と生活道路の一体的な整備を推進し, 安全性や回遊性の向上等を図り, まちの活性化に寄与した。
②調布のまちの魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> 京王線が地下化された中心市街地での道路整備を進めることで歩行者の回遊性を高め, まちの活性化に寄与した。
(24-2 人と環境にやさしい道路空間の整備)	<ul style="list-style-type: none"> 低騒音排水性舗装の実施や歩道のバリアフリー化による, 人と環境にやさしい道路空間の創出を図るため, 主要市道12号線(品川通り)の延長約350mについて, 歩道のバリアフリー化及び低騒音排水性舗装工事を実施したほか, 市道南176・192号線(羽毛下通り)の測量・設計を実施した。 防災性の向上や安全で快適な歩行空間の確保などの観点から, 歩道幅員が狭いなど通常の電線共同溝整備が難しい路線における無電柱化の推進を図るため, 主要市道20号線(三中通り)の約350mの区間について, 予備設計を実施した。 人と環境にやさしい道路整備を計画的に推進するため, 計画の素案を作成した。 道路照明灯LED化導入推進計画に基づき, 街路灯灯具のLED化を推進し, 温室効果ガス排出量削減・灯具の長寿命化・電気料金の削減を図った。
①横断的連携による施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■連携テーマ2 「にぎわいとuringおいのあるまちづくり」 ユニバーサルデザインに配慮した交通環境の向上を図るため, 人と環境にやさしい道路空間の整備を推進し, 環境に配慮した道路や, だれにもやさしい安全な道路の整備に取り組んだ。
(24-3 道路施設等の総合的な管理の推進)	<ul style="list-style-type: none"> 市が管理する道路施設について, 老朽化対策・維持管理費用の縮減を目的として, 効率的・効果的な道路の維持管理を推進していくために, 管理物の台帳化や点検を実施し, (仮称)道路総合管理計画の策定に係る各種検討を行った。 総合的な道路管理の在り方検討について, 道路施設の維持管理に関する市民アンケート調査, 民間活力を活用した維持管理手法に関する市内事業者への個別ヒアリングを実施し, 予防保全的に道路施設の維持管理に取り組むべき方向の確認を行った。 地籍整備事業の推進について, 国の第七次国土調査事業十箇年計画に併せて, 市における令和2年度から令和11年度までの10箇年で進める事業量を約1.62km²とする計画を策定した。
①横断的連携による施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 道路施設等の総合的な管理の推進に向け, 検討中の(仮称)公共施設マネジメント計画等の諸計画との整合を図りつつ, 「(仮称)道路総合管理計画」等の諸計画の策定について検討した。

<令和2年度における施策の成果についての総括>

- ・道路網計画に基づき、生活道路、都市計画道路、区画道路等の整備を着実に推進した。
- ・(仮称)道路総合管理計画に係る検討の2年目として、橋りょう長寿命化推進計画、地籍整備計画を策定するとともに、街路樹管理計画等の各種計画策定に向けた検討を推進した。
- ・市内の主要な道路である主要市道12号線(品川通り)の約350mのバリアフリー化・低騒音排水性舗装工事を実施し、すべての人が円滑に移動できる交通環境の実現に寄与した。また、主要市道20号線(三中通り)の一部区間では無電柱化予備設計を行い、電線を地中化し誰もが安全に通れる歩道の将来的な整備に向けた検討を行った。

まちづくり指標	基準値 (基準年度)	単位	実績値		目標値
			令和元年度	令和2年度	令和4年度
1 自宅などから目的地まで円滑に移動できる道路ネットワークが形成されていると感じている市民の割合	72.0 (H30)	%	50.0	64.9	75.0
2 普段利用している道路が通行しやすいと感じている市民の割合(徒歩)	58.6 (H30)	%	57.4	65.5	60.0
3 道路に関する市民からの要望件数	1,443 (H29)	件	1,374	1,674	1,100
【特記事項】					

2 基本計画事業取組実績

計画コード	79	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち	
事務事業	道路網計画に基づく計画的な道路ネットワークの形成				
所管部署	都市整備部・街づくり事業課・事業計画係・整備係				
活動内容	計画目標	令和2年度			
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)	
	○調布3・4・26号線の整備 ・(旧甲州街道～甲州街道) ・(京王線～旧甲州街道)	調布3・4・9号線 調布3・4・11号線 調布3・4・21号線 調布3・4・26号線	調布3・4・21号線 調布3・4・26号線 調布3・4・26号線(みちまち)	調布3・4・21号線 調布3・4・26号線 調布3・4・28号線(Ⅱ期) 調布3・4・28号線(Ⅲ期) 調布3・4・28号線(Ⅳ期)	
	○調布3・4・28号線の整備	調布3・4・26号線(みちまち)	調布3・4・28号線(Ⅱ期) 調布3・4・28号線(Ⅲ期) 調布3・4・28号線(Ⅳ期)	道路網の検討 市道西123号線 その他	
	○調布3・4・32号線の整備	調布3・4・28号線(Ⅱ期) 調布3・4・28号線(Ⅲ期) 調布3・4・28号線(Ⅳ期)	道路網の検討 市道東45号線 市道西123号線 市道南155-4号線 主要市道25号線 その他		
	○調布3・4・33号線の整備	道路網の検討 市道西123号線 布田4丁目地内道路 その他			
	○その他優先整備路線				
事業費(千円)	1,888,445	2,206,389	2,038,969		
債務負担行為等による用地取得費	0	907,000	790,743		

計画コード	80	重点P	-	-
事務事業	人と環境にやさしい道路の整備			
所管部署	都市整備部・道路管理課・維持管理係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○人と環境にやさしい道路の整備推進	○人と環境にやさしい道路の整備 ・整備計画の策定 ・南176号線及び南192号線測量・設計	○人と環境にやさしい道路の整備 ・整備計画の策定 ・市道南176号線及び市道南192号線測量・設計	○人と環境にやさしい道路の整備 ・整備計画の策定 ・市道南176号線及び市道南192号線測量・設計 ・主要市道12号線整備工事
		○無電柱化の推進 ・主要20号線予備設計 ○街路灯のLED化の推進 ・LED化事業実施	○無電柱化の推進 ・主要市道20号線予備設計 ○街路灯のLED化の推進 ・LED化事業実施	○無電柱化の推進 ○街路灯のLED化の推進 ・LED化事業実施
	事業費(千円)	80,600	70,779	95,894
債務負担行為等による用地取得費	0	0	0	

計画コード	81	重点P	-	-
事務事業	道路施設等の総合的な管理の推進			
所管部署	都市整備部・道路管理課・維持管理係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	道路施設等の計画的・効率的な維持管理の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○道路管理に関する関係法令等の整理 ○(仮)道路総合管理計画の策定検討 <ul style="list-style-type: none"> ・(仮)道路総合管理計画の策定 ・道路管理システムの構築検討 ・施設台帳の整備 ・道路台帳の整備 ・個別計画の策定 ・新たな道路管理手法の導入検討 ・適切な財産管理の方針策定 ○効率的な道路占有事務の取組 ・電子申請システムの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○道路管理に関する関係法令等の整理 ○(仮)道路総合管理計画の策定検討 <ul style="list-style-type: none"> ・(仮)道路総合管理計画の策定 ・道路管理システムの構築検討 ・施設台帳の整備 ・道路台帳の整備 ・個別計画の策定 ・新たな道路管理手法の導入検討 ・適切な財産管理の方針策定 ○効率的な道路占有事務の取組 ・電子申請システムの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○道路管理に関する関係法令等の整理 ○(仮)道路総合管理計画の策定検討 <ul style="list-style-type: none"> ・(仮)道路総合管理計画の策定 ・道路管理システムの構築検討 ・施設台帳の整備 ・道路台帳の整備 ・個別計画の策定 ・新たな道路管理手法の導入検討 ・適切な財産管理の方針策定 ○効率的な道路占有事務の取組 ・電子申請システムの検討
	事業費(千円)	187,000	157,161	105,754
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	82	重点P	-	-
事務事業	橋りょうの計画的な維持・補修			
所管部署	都市整備部・道路管理課・維持管理係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○橋りょうの安全確保の維持	<ul style="list-style-type: none"> ○工事 <ul style="list-style-type: none"> ・神明橋耐震・補修工事 ・跨線橋補修工事(仙川橋) ・補修工事 ○設計 <ul style="list-style-type: none"> ・跨道橋補修設計 ○点検 <ul style="list-style-type: none"> ・点検・台帳整備委託 	<ul style="list-style-type: none"> ○工事 <ul style="list-style-type: none"> ・跨線橋補修工事(仙川橋) ・塗膜物質除去工事 ○設計 <ul style="list-style-type: none"> ・跨道橋補修設計 ・跨線橋補修設計 ○点検 <ul style="list-style-type: none"> ・点検・台帳整備委託 	<ul style="list-style-type: none"> ○設計 <ul style="list-style-type: none"> ・跨線橋補修設計(日向橋及び新設橋) ○点検 <ul style="list-style-type: none"> ・点検・台帳整備委託
	事業費(千円)	230,000	194,930	15,741
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	83	重点P	-	-
事務事業	地籍整備事業の推進			
所管部署	都市整備部・道路管理課・財産管理係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	当面、市道境界未確認地域の早期解消(主として道路区域線整備事業未実施地区における官民境界等先行調査の優先実施)	○計画に基づく地籍調査事業の実施	○計画に基づく地籍調査事業の実施	○計画に基づく地籍調査事業の実施
	事業費(千円)	34,634	35,002	20,156
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

25 総合的な交通環境の整備			
主管課名	都市整備部 交通対策課		
主管課長名	坂本 主税	電話番号	042-481-7531
関係課名 (組織順)	環境政策課, 街づくり事業課, 道路管理課, 学務課		
目的	対象	市民, 市内公共交通機関の利用者	
	意図	安全, 快適, 円滑に目的地まで移動できる	
施策の方向	将来の交通需要や都市基盤の整備と合わせた効率的な公共交通ネットワークを形成するとともに, 交通安全対策の推進, 環境への負荷の少ない自転車利用の促進などを通じて, だれもが安心して移動できる総合的な交通環境が整ったまちづくりを進めます。		

< 施策と関連するSDGsの目標 (ゴール) >



1 令和2年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション (①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)	
<p>(25-1 公共交通ネットワークの形成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調布市ミニバスについて, 新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用人数の大幅な減少などを受け, バス事業者と運行を継続するための協議を行った。その結果, 北路線及び東路線については1月16日にダイヤ改正が行われた。また, 西路線については, 協議を継続することとした。 バス事業者と既存路線バスの延伸や新規路線の運行について協議を行った。 現在のバリアフリー基本構想が令和2年度で終了することから, 改正バリアフリー法を踏まえ, 次期バリアフリー基本構想の策定作業に着手した。 総合交通計画の計画期間の中間年を迎えたことから, 社会経済情勢の変化に対応した見直し等を行うため, 令和3年度の改定に向けた作業に着手した。 調布市自転車ネットワーク計画に基づき, 優先整備路線 (I期) の基本設計を行った。 	
<p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 調布市バリアフリー特定事業計画において個別事業を所管する関係課と連携し, 各事業の推進を図った。 ■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」 調布市バリアフリー推進協議会を通じて, 公共交通をはじめとする各事業者の特定事業計画の進捗状況を把握するとともに, 当事者の声を各事業者に届けることなどを通じて, バリアフリー推進を図った。 	
<p>(25-2 交通安全対策の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども交通安全教室を運営し, 子どもだけでなく親の交通安全意識の向上にも努めた。 高齢者交通安全指導員 (シルバーリーダー) 講習会を開催し, 高齢者の交通安全教育を進めるとともに, 自転車安全利用講習会を開催し, 自転車利用時のルール・マナーや点検整備の重要性について啓発を行った。 各種交通安全キャンペーンを実施し, 交通安全に対する啓発を行った。 	
<p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京都自転車商協同組合調布支部と連携し, 自転車の点検と賠償保険の加入を促進した。 高齢者交通安全指導員講習会を, 調布警察署, 市民団体と連携して実施した。 ■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」 東京都の条例改正により, 自転車利用者の損害賠償保険加入が義務化されたことから, 東京都自転車商協同組合調布支部と連携し, 自転車安全利用講習会の受講者に対して, TS マーク付帯保険 (自転車の点検とセットの保険) の助成券を配布し, 自転車の点検と保険加入を促進した。 高齢者交通安全指導員講習会において, 市民団体の協力の下, 免許証の自主返納についての啓発を行った。 	
<p>(25-3 自転車利用の促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調布市立調布西第3自転車駐車を開設し, 調布駅西側での利便性向上及び放置自転車の抑制を図った。 調布駅周辺の自動二輪・原付の駐車需要に対応するため, 自転車駐車の運用の中で駐車スペースを確保した。 買い物利用のための短時間駐輪に対応するため, 路上自転車駐車場の整備に向けた調査・検討を行った。 調布市自転車等対策実施計画について, 社会情勢等の変化に対応するための改定を行った。 調布駅南地下自転車駐車場の都市計画変更 (廃止) を行った。 	
<p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 庁内各部署と連携し, 気軽に自転車利用が可能なシェアサイクル事業の導入に向け, 実証実験を継続した。 ■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」 東京都, 街づくり事業課, 郷土博物館, 協働推進課, 緑と公園課などと連携し, シェアサイクル事業におけるサイクルステーションの増設を進めた。 	

<令和2年度における施策の成果についての総括>

- ・調布市ミニバスについて、新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用人数の大幅な減少などを受け、バス事業者と運行を継続するための協議を行った。その結果、北路線及び東路線については11月16日にダイヤ改正が行われた。また、西路線については協議を継続することとした。
- ・調布市自転車ネットワーク計画に基づき、優先整備路線（I期）の基本設計を行った。
- ・自転車安全利用講習会の受講者に対して、TSマーク付帯保険（自転車の点検と保険がセット）の助成券を配布し、自転車の点検と保険加入を促進した。
- ・調布駅南地下自転車駐車場の都市計画変更（廃止）を行った。

まちづくり指標	基準値 (基準年度)	単位	実績値		目標値
			令和元年度	令和2年度	令和4年度
1 市内の公共交通機関（電車・バス）を利用しやすいと感じている市民の割合	76.3 (H30)	%	75.2	80.6	77.0
2 市内における交通人身事故件数（暦年）	386 (H30)	件	424	391	370
3 自転車等駐車場の有料化整備率	85.4 (H29)	%	90.2	90.0	92.3
【特記事項】					

2 基本計画事業取組実績

計画コード	84	重点P	—	—
事務事業	交通計画等の検討			
所管部署	都市整備部・交通対策課・交通対策係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○総合交通計画に基づく取組の推進	○総合交通計画の見直し	○総合交通計画の見直し	○総合交通計画の見直しに向けた検討
	○バリアフリーの推進	○バリアフリー基本構想の見直し検討	○バリアフリー基本構想の見直し検討	○バリアフリー特定事業計画の進行管理・バリアフリー基本構想の見直し等に向けた検討（評価・点検）
		○自転車利用促進に向けた取組 ・自転車走行環境の整備（ナビマーク等の設計） ・シェアサイクルの活用	○自転車利用促進に向けた取組 ・自転車走行環境の整備（ナビマーク等の基本設計） ・シェアサイクルの活用	○自転車利用促進に向けた取組 ・自転車走行環境の整備（ナビマーク等の基本設計） ・シェアサイクルの活用
	事業費（千円）	38,510	30,210	26,718
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	85	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち
事務事業	自転車等駐車場の整備・有料化			
所管部署	都市整備部・交通対策課・自転車対策係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○自転車等駐車場の整備有料化	○自転車等駐車場の整備・有料化 ・つつじヶ丘駅周辺	○自転車等駐車場の整備・有料化 ・調布駅周辺	○自転車等駐車場の整備・有料化 ・調布駅（1箇所）開設 ・調布駅、つつじヶ丘駅（各1箇所）閉鎖
		○調布駅等各駅周辺の自転車等駐車場整備計画の検討結果を踏まえた取組の検討	○自転車駐車場機械施設の更新 ・西調布駅周辺	○自転車等対策実施計画（改定版）の策定
		○シェアサイクルの活用（再掲）	○シェアサイクルの活用（再掲）	○シェアサイクルの活用（再掲）
	事業費（千円）	138,138	35,227	34,970
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

26 地球環境の保全			
主管課名	環境部 環境政策課		
主管課長名	岡田 賢一郎	電話番号	042-481-7084
関係課名 （組織順）	契約課, 管財課, 文化生涯学習課, 緑と公園課, 下水道課, ごみ対策課, 街づくり事業課, 教育総務課		
目的	対象	市民, 事業者	
	意図	環境に負荷を与える活動を抑制する	
施策の方向	地球環境保全に係る情報提供及び学習の充実を図るとともに, 省エネルギーの取組や再生可能エネルギーの利用拡大を推進し, 環境負荷の少ない持続可能な社会の構築を目指します。		

＜施策と関連するSDGsの目標（ゴール）＞



1 令和2年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
<p align="center">施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）</p> <p>(26-1 地球環境保全意識の啓発)</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境を巡る社会情勢が大きく変化していることから, 学識経験者・市民団体・事業者・関係機関・市等で構成する「調布市環境基本計画等改定委員会」を5回開催して検討を重ね, 複数の市民参加手法を実践し, 多様な市民意見を把握した。また, 国際社会の共通の目標であるSDGs（持続可能な開発目標）の17の目標を各施策と関連付け, 令和3年3月に「環境基本計画」の改定を行った。 気候変動や地球温暖化を巡る国内外の動向の変化を踏まえ, 「調布市環境保全審議会」の開催や, 多くの市民から意見をいただく機会を設け, 新たに「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」及び「第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を令和3年3月にそれぞれ策定した。 市民向けに作成している環境広報誌「ちょうふ環境にゅーす」や小・中学生向けの環境広報誌「みらいへつなごう～ちょうふのかんきょう～」, 海洋プラスチックごみ問題の啓発パンフレット「海洋プラスチックごみ問題を知っていますか?」を発行するなど, 市民や子どもたちの環境意識の醸成を図った。 環境活動の担い手となる人材育成と活動支援のため, 市内の崖線樹林地に生息・生育する動植物や活動する市民団体を紹介した「調布市・崖線樹林地ガイドマップ もりのちず」（入間町・若葉町編）及び（深大寺自然広場（通称カニ山）編）をそれぞれ発行した。 小・中学生を対象とし, 6回開催した「調布こどもエコクラブ」事業は, 延べ162人の参加があり, 小・中学生の環境学習の充実を図った。 <p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画策定（改定）に向けて行った「対面型市民ワークショップ」「オンライン座談会」「メール等による環境施策のアイデア募集」等の各種市民参加は, 企画から運営まで「ちょうふ環境市民会議」と協働で行い, いただいた多様な市民意見を計画に反映した。また, 計画改定に向けた検討状況を広く市民に周知するため, 「調布市環境基本計画等改定ニュースレター」を4回発行した。 環境基本計画に位置付けた, 庁内横断的に取り組んでいる環境施策の取組状況や市内の環境状況の数値データ等を掲載した「未来へつなぐ調布の環境～令和元年度環境年次報告書～」を発行し, 公表した。 生物多様性をテーマに「ちょうふ環境市民会議」と協働で実施した「環境活動交流会」を動画配信した。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> プラスチックごみの減量や海洋流出防止につながる市独自の取組を実践するため, 令和2年4月に「CHOFUプラスチック・スマートアクション」を立ち上げ, 市職員が率先して使い捨てプラスチックの使用抑制に努めるとともに, プラスチックの抑制についての広報・啓発にこれまで以上に力を入れて取り組んだ。 <p>(26-2 地球環境保全行動の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一事業所として市役所の業務や施設・車両から排出される温室効果ガスの削減を図るため, 「第3次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき, 環境マネジメントシステムの適切な運用を行い, 職員向けに環境研修や広報誌「ISO 譜」を発行するなど, 全職員に環境意識の醸成を図った。 副市長及び各部長級相当職で構成する「環境管理委員会」を3回開催し, 省エネ施策等の全庁的な推進を図った。 東京都が家庭部門での再エネ利用拡大を図るために実施している「再生可能エネルギーグループ購入促進モデル事業（みんなでいっしょに自然の電気）」のリーフレットやポスターを都と共同で作成し, 市報やSNS等のほか, リーフレットを調布市民意識調査に同封して郵送, 市内小学生全児童の保護者に配布するなど, 積極的な広報に努め, 約100世帯の再エネ電力への切り替えを図った。 子どもたちの地球環境保全に向けた意識の醸成を図るため, 環境市民団体と協働して実施した「環境講座2020～自然のチカラで電気をつくろう～（2回開講）」は, 延べ44人の参加があり, 親子の再エネへの関心を高めた。 家庭用高効率給湯器の設置補助159件, 太陽光発電設備に対する補助68件を行い, 温室効果ガス排出量の抑制に努めた。 	

・環境活動の担い手となる人材育成のため、5回開講した「雑木林ボランティア講座」は、延べ36人の参加があり、市内に残る雑木林の維持管理と技能の取得を目的とした活動を行った。また、6回開催した「調布市環境モニター」は、延べ54人の参加があり、植物等の観測・調査を行うなど、生物多様性の視点で環境保全行動に取り組む人材の育成を図った。

①横断的連携による施策の推進

- ・再生可能エネルギーの普及やフェーズフリー等の観点から実施している、市内34の公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業は、令和2年度の発電量が約98万4000kWhであった。
- ・公用車として3台のゼロエミッションビークルを導入し、市庁舎平面駐車場内に普通充電設備を3台設置した。
- ・野川流域の河川環境の保全に向けて連携した取組をするため、流域6自治体で構成する「野川流域環境保全協議会」に参加して意見交換を行うなど、広域的な連携を図った。
- ・市役所におけるワンウェイ（使い捨て）プラスチックの削減に係る率先行動として、本庁舎内の自動販売機からペットボトル飲料の販売を廃止したほか、市が主催する会議・イベントでは、極力、ワンウェイ（使い捨て）プラスチック製品・プラスチック製容器包装等の使用を控える等の取組を全庁的に行い、「CHOFU プラスチック・スマートアクション」を推進した。

②調布のまちの魅力発信

- ・脱炭素社会の実現に向けて、「2050年までに二酸化炭素排出を実質ゼロ」にする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを令和3年3月に表明した。
- ・多摩川自然情報館の解説員による、生物多様性や海ごみ等をテーマにした「環境教育活動プログラム」を小・中学校で実施し、学校における環境教育を支援したほか、同テーマの各種イベントを実施するなど、調布の環境保全に係る次世代育成を図った。

<令和2年度における施策の成果についての総括>

- ・新型コロナウイルス感染対策により、一部の環境啓発イベントが開催できなかったが、できる限り方法を工夫し、オンラインや動画等を使用した事業実施に努め、市民・事業者等に対して地球環境保全意識の啓発を行った。また、市報・市ホームページのほか、SNSや動画等のあらゆる広報媒体を活用し、積極的に環境情報の発信を行った。
- ・市が行う事務事業によって排出される温室効果ガスの排出量は1万3943t-CO₂（基準値の平成29年度比で11.0%の減）となり、地球温暖化対策事業の効果は表れているが、削減の継続が必要である。

まちづくり指標	基準値 (基準年度)	単位	実績値		目標値
			令和元年度	令和2年度	令和4年度
1 環境学習事業及び多摩川自然情報館で学習した延べ人数	1万 683 (H29)	人	1万 2,403	7,241	1万 1,000
2 公共施設における温室効果ガス総排出量（目標値は令和2年度）	1万 5,667 (H29)	t- CO ₂	1万 4,528	1万 3,943	1万 4,389
【特記事項】					

2 基本計画事業取組実績

計画コード	86	重点P	-	-
事務事業	環境情報の提供と環境学習事業の推進			
所管部署	環境部・環境政策課・環境保全係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○環境年次報告書・広報誌等の発行による環境情報の提供 ○環境啓発事業の推進 ○環境学習の推進及び支援 ○環境学習施設の活用 ○環境保全に取り組む人材の育成 ○環境情報提供方法の多面化と充実	○環境情報の提供 ○環境啓発事業の推進 ○環境学習の推進及び支援 ○環境学習施設の活用 ○環境保全に取り組む人材の育成 ○環境基本計画改定（中間見直し）（地球温暖化対策実行計画区域施策編含む）	○環境情報の提供 ○環境啓発事業の推進 ○環境学習の推進及び支援 ○環境学習施設の活用 ○環境保全に取り組む人材の育成 ○環境基本計画改定（中間見直し）（地球温暖化対策実行計画区域施策編含む）	○環境情報の提供 ○環境啓発事業の推進 ○環境学習の推進及び支援 ○環境学習施設の活用 ○環境保全に取り組む人材の育成 ○調布市環境基本計画改定 ○調布市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定
	事業費（千円）	25,135	25,071	23,458
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	87	重点P	-	-
事務事業	地球温暖化対策の推進			
所管部署	環境部・環境政策課・環境保全係			
活動内容	計画目標 ○公共施設等における取組の実践 ○地域（市民・事業者）の取組促進と環境保全行動に率先して取り組む人材の育成 ○市民・事業者との連携による再生可能エネルギーの導入及び利用促進	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
		○公共施設の実践 ○地域の取組促進 ○市民との協働による再生可能エネルギーの利用促進 ○地球温暖化対策実行計画事務事業編の改定	○公共施設の実践（壁面緑化施設）※ ○地域の取組促進（ゴーヤの苗配布）※ ○市民との協働による再生可能エネルギーの利用促進（屋根貸しによる太陽光発電の実施） ○地球温暖化対策実行計画事務事業編の改定	○市民との協働による再生可能エネルギーの利用促進（屋根貸しによる太陽光発電の実施） 令和2年度総発電量：約98万kwh ○第4次地球温暖化対策実行計画事務事業編の策定 ○CHOFUプラスチック・スマートアクションの取組の推進
	事業費（千円）	4,178	4,178	2,750
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

27 水と緑による快適空間づくり			
主管課名	環境部 緑と公園課		
主管課長名	塚田 賢一郎	電話番号	042-481-7080
関係課名 (組織順)	文化生涯学習課, 産業振興課, 農政課, 環境政策課, 下水道課, 都市計画課, 街づくり事業課, 道路管理課, 郷土博物館		
目的	対象	自然, 市民	
	意図	自然が保全・創出される, 自然との共生が図られる	
施策の方向	人と自然との共生を目指すために, 湧水, 公園, 崖線, 里山などの水辺や緑地を保全し, 連続性のある自然動植物の生息空間と緑豊かな美しい街並み・景観を形成する快適な空間づくりに取り組みます。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和2年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション (①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)	
(27-1 水と緑の保全)	<p>・崖線樹林地等における市民団体の保全活動や, 市民等の公遊園清掃協力活動などへの支援とともに, 人材の育成などにも取り組み, 市民との協働による公園・緑地, 崖線樹林地の維持保全を進めた。</p> <p>・緑の保全を図るため, 「みんなの森特別緑地保全地区の保管理計画」の策定に向けた調査検討を行うとともに, 深大寺・佐須地域において農業公園を新たに都市計画決定し, 用地を取得した。</p> <p>・緑施策を推進するため, 学識経験者・市民・関連団体・市等で構成する「調布市緑の基本計画策定委員会」において検討を重ね, 緑分野のマスタープランである新たな「調布市緑の基本計画」を策定した。</p> <p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」</p> <p>・緑の基本計画の策定において, 庁内組織である「緑の基本計画策定推進連絡会」を活用し, 関係各課と連携を図った。</p> <p>・緑施策を推進するため, 学識経験者・市民・関連団体・市等で構成する「調布市緑の基本計画策定委員会」において検討を重ねるなど, 各種市民参加手続きを経て緑の基本計画を取りまとめた。</p> <p>②調布のまちの魅力発信</p> <p>・東京2020大会の開催を見据え, 緑と花が楽しめるまちとして迎えられるよう, 調布・西調布・飛田給の駅前で, 花いっぱい運動に継続して取り組んだ。</p>
(27-2 水と緑の創出)	<p>・京王線連続立体交差事業によって創出された線路跡地を有効活用するため, 鉄道敷地整備計画に基づき, 鬼太郎ひろばのトイレ及び河童の三平池の整備に取り組んだ。</p> <p>・地域ニーズに合わせた公園等の整備を計画的に実施するため, 公園・緑地機能再編整備指針に基づき, 多摩川市民広場周辺地区における機能再編整備を進めた。</p> <p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」</p> <p>・鉄道敷地整備計画に基づき, 関係各課と連携し, 広場整備を推進した。</p> <p>②調布のまちの魅力発信</p> <p>・コロナ禍によりイベントは自粛したが, 暫定開放したタコの遊具が設置された鉄道敷地公園（相模原線）が, 新たな市民の憩いの場として定着した。</p>
(27-3 深大寺・佐須地域環境資源保全・活用の推進)	<p>・地域の豊かな環境を調布の財産として次世代に引き継いでいくため, 里山の風景が残る地域の環境資源を活用し, 「雑木林ボランティア講座」, 「こどもエコクラブ」等を開催することで, 環境活動の担い手の育成や市民の環境保全意識の啓発を図った。</p> <p>・地元説明会や都市計画審議会の審議を経て, 「深大寺・佐須地域農業公園」を都市計画決定し, 整備に向けて実施設計を行った。</p> <p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」</p> <p>・当該地域で, 生産緑地の買取り申出によって公有化した土地を活用し, 里山や農に触れ合える体験型の環境学習・環境教育の場として活用した。特に, 水田として活用している場所は, 市立柏野小学校の5年生児童及びその保護者, 教員, 近隣市民等の多くの方々が, 田植えや稲刈りを行った。</p> <p>②調布のまちの魅力発信</p> <p>・深大寺・佐須地域の自然環境の保全・活用については, 都市の貴重な農地を保全し, 農のある風景を維持して</p>

いくため、東京都の「農の風景育成地区」に都内5地区目として令和2年7月に指定を受け、東京都と連携した取組を強化することとした。

- ・里山や公有化した土地を活用した体験型の環境学習を実施するなど、都市農地を含む里山環境の保全意識を醸成する取組を市民団体やNPO法人等との協働により推進した。

<令和2年度における施策の成果についての総括>

- ・学識経験者・市民・関連団体・市等で構成する「調布市緑の基本計画策定委員会」において検討を重ね、緑分野のマスタープランである新たな「調布市緑の基本計画」を策定した。
- ・地域制緑地制度を活用したみんなの森特別緑地保全地区について、保安全管理計画の策定に向けた調査検討を進めた。
- ・「公園施設長寿命化計画」に基づき7基（5公園）の遊具を更新し、安全・安心な公遊園の維持を図った。
- ・東京2020大会の開催を見据え、緑と花があふれるまちとして迎えられるよう、調布・西調布・飛田給の駅前で、花いっぱい運動に継続して取り組んだ。
- ・「深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画」に基づき、里山の風景を次世代に引き継いでいくため、深大寺・佐須地域において農業公園を新たに都市計画決定し、用地取得と実施設計を行った。
- ・市内の湧水涵養・治水対策として、既存住宅、新規住宅、開発区域内、公園に、3964基の雨水浸透枳及び1271mの浸透トレンチを設置した。

まちづくり指標	基準値 (基準年度)	単位	実績値		目標値
			令和元年度	令和2年度	令和4年度
1 公共が保全する緑の面積	149.07 (H29)	ha	149.29	149.42	149.70
2 市民一人当たりの公園面積	5.54 (H29)	m ²	5.45	5.44	5.50 以上
3 区域での環境学習等の延べ参加人数	6,023 (H29)	人	6,455	6,704	6,300
【特記事項】					

2 基本計画事業取組実績

計画コード	88	重点P	⑤	人と自然が共生するうるおいのあるまち
事務事業	公園・緑地、崖線樹林地の保全			
所管部署	環境部・緑と公園課・みどりの推進係・管理係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○安全で快適な公園・緑地、崖線樹林地の維持保全 ・みどり率34.1%の維持	○市民との協働による保全 ○崖線樹林地等の保全に関する調査検討（深大寺元町特別緑地保全地区、国分寺崖線、みんなの森） ○花いっぱい運動の推進 ○公園施設長寿命化計画に基づく公園の改修工事 ○緑地の公有化・深大寺南町（深大寺・佐須計画区域） ○緑の基本計画改定 ○公園・公衆トイレ整備・改修計画に基づく取組 ○地域制緑地制度活用検討（深大寺・佐須地域） ○実篤公園の保安全管理に関する調査検討	○市民との協働による保全 ○崖線樹林地等の保全に関する調査検討（深大寺元町特別緑地保全地区、国分寺崖線、みんなの森） ○花いっぱい運動の推進 ○公園施設長寿命化計画に基づく公園の改修工事 ○緑地の公有化・深大寺南町（深大寺・佐須計画区域） ○緑の基本計画改定 ○公園・公衆トイレ整備・改修計画に基づく取組 ○地域制緑地制度活用検討（深大寺・佐須地域） ○実篤公園の保安全管理に関する調査検討	○市民との協働による保全 ○崖線樹林地等の保全に関する調査検討（みんなの森） ○花いっぱい運動の推進 ○公園施設長寿命化計画に基づく公園の改修工事 ○緑地の公有化・深大寺南町（深大寺・佐須計画区域） ○緑の基本計画策定 ○公園・公衆トイレ整備・改修計画に基づく取組 ○地域制緑地制度活用検討 ○樹木の健全度調査
	事業費（千円）	829,237	833,799	818,985
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	89	重点P	⑤	人と自然が共生するうるおいのあるまち
事務事業	公園・緑地等の整備			
所管部署	環境部・緑と公園課・管理係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○計画終了年次における調布市緑の基本計画の目標の達成 ・市民一人当たり5.5㎡の公園面積の確保 ・公園不足地域の解消	○調布基地跡地留保地スポーツ・防災公園(協議・調整) ○鉄道敷地公園(相模原線)の運用 ○多摩川市民広場整備工事 ○凸凹山児童公園及び若宮自然広場等基本構想 ○五本松公園実施設計	○調布基地跡地留保地スポーツ・防災公園(協議・調整) ○鉄道敷地公園(相模原線)トイレ工事 ○多摩川市民広場整備工事 ○凸凹山児童公園及び若宮自然広場等基本構想 ○五本松公園実施設計	○鉄道敷地公園(相模原線)防犯カメラ設置 ○多摩川市民広場整備工事 ○鬼太郎ひろばのトイレ・河童の三平池整備
	事業費(千円)	134,996	117,996	52,404
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	90	重点P	⑤	人と自然が共生するうるおいのあるまち
事務事業	深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用			
所管部署	環境部・環境政策課・環境保全係、緑と公園課・管理係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画の推進 ・事業実施のための調査・検討 ・事業の推進 ・緑地の確保 ・庁内連携	○深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画の推進 ・公有化した土地の活用に係る施設整備 ・農地周辺の環境整備等に係る協働事業及び地域での環境学習事業の確立 ・地域での環境事業の試行と確立後の事業実施 ・水路周辺の生物・水質調査の実施 ○佐須農の家の管理・運営	○深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画の推進 ・公有化した土地を環境教育等の機会の場として活用 ・「農の風景育成地区」の指定 ・農業公園の都市計画決定及び詳細設計 ・公有化した土地の田んぼ復活プロジェクト ・佐須の用水路の水質・水生生物調査の実施 ○佐須農の家の管理・運営	○深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画の推進 ・公有化した土地を環境教育等の機会の場として活用 ・「農の風景育成地区」の指定 ・農業公園の都市計画決定及び詳細設計 ・公有化した土地の田んぼ復活プロジェクト ・佐須の用水路の水質・水生生物調査の実施 ○佐須農の家の管理・運営
	事業費(千円)	58,991	20,973	14,201
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

28 ごみの減量と適正処理			
主管課名	環境部 ごみ対策課		
主管課長名	三ツ木 吉和	電話番号	042-306-8722
関係課名 (組織順)	文化生涯学習課, 産業振興課, 環境政策課, 緑と公園課, 下水道課		
目的	対象	市民, 事業者	
	意図	資源循環型社会の形成に向け, 3Rを推進する	
施策の方向	広報, 啓発活動や支援事業の充実により, 市民・事業者による3R(リデュース=ごみの発生抑制, リユース=再利用, リサイクル=再資源化)の取組を推進します。また, ごみの安定処理と適正処理に努め, 資源循環型社会を目指します。		

< 施策と関連するSDGsの目標 (ゴール) >



1 令和2年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績 施策における2つのアクション (①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)

(28-1 3R推進によるごみの減量)

- 市民や事業者への効果的なごみ減量と適正分別に向け, 様々な媒体・機会を活用し情報発信を行い, 意識啓発及び3Rの推進に努めた。
- 調布市クリーンセンターの安定的な稼働や, 迅速なごみの収集・適正処理に努めるとともに, 最終処分量ゼロを継続することで, ごみの適正排出・適正処理を促進した。

①横断的連携による施策の推進

- プラスチック削減を目的としたCHOFUプラスチック・スマートアクションを推進した。
- 廃棄物減量及び再利用促進審議会において, 食品ロスや, 枝・草・葉及びプラスチックの資源化について議論を重ね, 調布市のごみ減量・資源化に向けた新たな施策展開について検討した。
- 市民や事業者, 社会福祉協議会と連携したフードバンク等の取組を, 全戸配布の広報誌等の媒体を活用し, 市民に広く周知を図ることで, 食品ロスの削減に取り組んだ。
- 幅広い世代への広報・啓発を図るため, ごみ減量・資源化への取組をわかりやすく解説した広報誌「ザ・リサイクル ジュニア」を発行し, 市内の小・中学校に配布することで環境学習に努めた。
- 廃棄物減量及び再利用促進員向けの「促進員ニュース」を年2回発行し, 地域のごみ減量に向けた情報提供をすることで, 環境保全活動を支援した。

②調布のまちの魅力発信

- リサイクル先進市(人口10万人以上50万人未満の市で令和元年度はリサイクル率全国第8位)

(28-2 ごみの安定・適正処理)

- 新型コロナウイルス感染症や熱中症の対策のもと, 安定的なごみの収集・運搬, 処理作業を実施した。
- 可燃ごみの焼却残さ(焼却灰)は, エコセメント化による再利用を図り, 最終処分量ゼロを維持した。

①横断的連携による施策の推進

- ふじみ衛生組合及び構成市である三鷹市との連携のもと, ごみの安定かつ適正な中間処理を継続して実施した。
- 25市1町で構成される「東京たま広域循環資源組合」のエコセメント化事業により最終処分(埋立)量ゼロを維持した。

②調布のまちの魅力発信

- ごみ収集車に, 小学生が作成した「いじめや虐待のないまち宣言」の絵を掲載し, 市内を周回することで, PR事業に協力した。

< 令和2年度における施策の成果についての総括 >

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う自粛生活等により, 事業系ごみは減少したが家庭系ごみ排出量は増加し, 総ごみ量は令和元年度に比べ増加した。更なるごみの減量及び適正処理に向け, 廃棄物減量及び再利用促進審議会にて関連した議論で意見をいただいた。また, 市報, 市ホームページ, 広報誌「ザ・リサイクル」や「ごみアプリ」等の様々な媒体に加え, 四半期毎に家庭系ごみ原単位の目標達成度を示した「ごみダイエット注意報」での啓発や, 小・中学生を対象とした「ザ・リサイクル ジュニア」を創刊する等, 幅広い年代に向けごみ減量や資源化に関する広報・周知を図った。

まちづくり指標	基準値 (基準年度)	単位	実績値		目標値
			令和元年度	令和2年度	令和4年度
1 市民1人1日当たりの家庭系ごみ排出量	374.2 (H29)	g	378.0	392.1	360.0

2 最終処分(埋立)量	ゼロ (H29)	-	ゼロ	ゼロ	ゼロ
【特記事項】 ・コロナ禍における自粛生活により家庭系ごみが増加しており、今までの減量が見込めない状況である。					

2 基本計画事業取組実績

計画コード	91	重点P	-	-
事務事業	ごみの減量と資源化			
所管部署	環境部・ごみ対策課・減量対策係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○さらなるごみ減量, 資源化を図る。	○広報・啓発 ○生ごみの減量対策 ○市民・事業者による自主的なごみ減量・資源循環の取組支援, 助成 ○資源化の推進	○広報・啓発 ○生ごみの減量対策 ○市民・事業者による自主的なごみ減量・資源循環の取組支援, 助成 ○資源化の推進	○広報・啓発 ○生ごみの減量対策 ○市民・事業者による自主的なごみ減量・資源循環の取組支援, 助成 ○資源化の推進
	事業費 (千円)	85,259	86,613	69,324
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	92	重点P	-	-
事務事業	ごみの適正排出・適正処理の推進			
所管部署	環境部・ごみ対策課・業務係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○分別排出指導 ○ごみの適正選別 ○不法投棄対策 ○資源物持去り対策 ○ごみの適正処分	○分別排出指導 ○ごみの適正選別 ○不法投棄対策 ○資源物持去り禁止対策 ○ごみの適正処分	○分別排出指導 ○ごみの適正選別 ○不法投棄対策 ○資源物持去り禁止対策 ○ごみの適正処分	○分別排出指導 ○ごみの適正選別 ○不法投棄対策 ○資源物持去り禁止対策 ○ごみの適正処分
	事業費 (千円)	865,480	946,492	813,508
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

29 快適な生活環境づくり			
主管課名	環境部 環境政策課		
主管課長名	大島 振一郎	電話番号	042-481-7561
関係課名 (組織順)	営繕課, 健康推進課, 下水道課, ごみ対策課, 住宅課, 街づくり事業課, 道路管理課, 教育総務課		
目的	対象	市民, 事業者	
	意図	安心して暮らせる環境を維持することができる	
施策の方向	生活環境被害の防止対策, まちの美化活動, 路上喫煙対策, 下水道の機能確保などについて, 市民, 地域, 事業者, 市がそれぞれの役割に応じた取組を進め, 市民が安心して暮らすことができる環境の維持を図ります。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和2年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）	
(29-1 生活環境の維持向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染測定調査を2箇所の常時測定局と3箇所の移動式測定局で実施, 自動車騒音測定を市内5箇所（主要道路）で実施, 及び空間放射線量を毎月1回, 市内10箇所測定し市報・ホームページで公表した。 ・騒音・振動・悪臭等生活環境の苦情・相談について迅速かつ適切に対応した。 ・市内7箇所の公衆トイレの清掃や修繕をこまめに行い, 市民や市内来街者が快適に利用できるよう努めた。 ・飼い主のいない猫対策として, 不妊・去勢手術費の一部を助成した。
①横断的連携による施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・空間放射線測定を, 公園・小学校・保育園等市立施設所管課と連携して実施した。
(29-2 美化活動の推進)	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の多摩川, 野川・調布駅前・飛田給駅前クリーン作戦（春：多摩川, 夏：調布駅前・飛田給駅前クリーン作戦は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止）を継続して実施することで, マナーアップ清掃をはじめとする地域での自主的な清掃活動を支援し, 清掃活動を推進した。 ・調布市受動喫煙防止条例に基づく京王線各駅周辺の路上等喫煙禁止区域において, 啓発活動を実施するとともに, 平日の朝・夕の通勤時間帯にパトロールを実施した。また, 喫煙マナー啓発事業も引き続き実施した。
①横断的連携による施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年7月1日施行の調布市受動喫煙防止条例に基づく路上喫煙対策を, 庁内連携（受動喫煙対策庁内連絡会）のもと継続して実施した。 ■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」 ・東京2020大会の開催に向け, 地域住民, 東京都, 市が連携し, 飛田給駅前クリーン作戦を実施した。
②調布のまちの魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> ・市内京王線全駅周辺, 市が管理する公園や公共施設及び児童・生徒が通う施設周辺等の路上での喫煙禁止を条例で規定し, 受動喫煙防止対策を推進している。
(29-3 持続的な下水道事業の推進)	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道施設の機能維持, 今後の経営基盤強化を図るため「調布市下水道ビジョン」を策定した。 ・管路の老朽化や人口減少など今後の経営環境の変化を踏まえ, 経営状況の把握と分析を進めるため, 会計方式を公営企業会計へ移行した。 ・「調布市下水道長寿命化計画」に基づき, 布田・調布ヶ丘地区における管路の長寿命化対策工事を行った。また, 今後10年間で布設後50年を超過する下水道管が見込まれる中, 新たな老朽化・劣化対策事業として, 市域全体の管路の状態を早期に把握し最適化を図る「調布市下水道ストックマネジメント計画」を策定した。 ・老朽化が進行している仙川汚水中継ポンプ場について, 長期的なコスト及び災害時のリスク低減等に向け, 管路の新設による自然流下方式へ切り替えるため, 地質調査及び工事設計を実施した。
①横断的連携による施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「調布市下水道ビジョン」の策定に当たり, 庁内検討部会を設置し, 行財政・防災・環境・まちづくり等の様々な観点から検討を行った。
②調布のまちの魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゲゲゲの鬼太郎」のマンホール蓋をデザインしたマンホールカードを配布した（2904枚配布）。

<令和2年度における施策の成果についての総括>

- 生活環境に関する苦情・相談事案に迅速かつ適切に対応した結果、公害対策について不満を感じる市民の割合を低減することができた。
- 下水道事業においては、布田・調布ヶ丘地区の長寿命化対策工事を概ね予定どおり進めることができ、長寿命化対策工事やストックマネジメントに基づく対策工事済又は健全確認済管路延長の目標値を達成することができた。

まちづくり指標	基準値 (基準年度)	単位	実績値		目標値
			令和元年度	令和2年度	令和4年度
1 騒音や悪臭などの公害対策について不満を感じる市民の割合	19.5 (H30)	%	13.8	13.4	20.0 未滿
2 美化活動に参加した市民の数	9,075 (H29)	人	4,428	2,294	1万 1,000
3 長寿命化対策工事やストックマネジメントに基づく対策工事済又は健全確認済管路延長	66.8 (H30)	km	68.0	68.8	68.8
【特記事項】					

2 基本計画事業取組実績

計画コード	93	重点P	-	-
事務事業	都市美化の促進と路上喫煙対策の推進			
所管部署	環境部・環境政策課・生活環境係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○美化活動の促進や喫煙マナー、路上喫煙防止の推進により、快適な生活環境の維持向上に努める。	○受動喫煙防止パトロールの実施（市内各駅） ○美化推進重点地区の支援 ○多摩川・野川・調布駅前・飛田給駅前クリーン作戦 ○喫煙マナーアップ対策の推進（受動喫煙等防止を含む） ○路上喫煙防止対策の推進	○受動喫煙防止パトロールの実施（市内各駅） ○美化推進重点地区の支援 ○多摩川・野川・調布駅前・飛田給駅前クリーン作戦 ○喫煙マナーアップ対策の推進（受動喫煙等防止を含む） ○路上喫煙防止対策の推進	○受動喫煙防止パトロールの実施（市内各駅） ○美化推進重点地区の支援 ○多摩川・野川・調布駅前・飛田給駅前クリーン作戦 ○喫煙マナーアップ対策の推進（受動喫煙等防止を含む） ○路上喫煙防止対策の推進
	事業費（千円）	12,355	22,724	21,509
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	94	重点P	①	防災・防犯の面で安全・安心に暮らせるまち
事務事業	下水道施設の機能維持			
所管部署	環境部・下水道課・管理係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○下水道施設の計画的・効率的な維持管理を目的とした、ストックマネジメント計画に基づく事業の実施 ○地震対策の推進	○下水道施設の計画的・効率的な維持管理 ・ストックマネジメント計画策定 ・長寿命化対策工事（布田・調布ヶ丘地区） ○次期下水道総合計画策定 ○地震対策の推進・管路耐震診断・方針決定	○下水道施設の計画的・効率的な維持管理 ・ストックマネジメント計画策定 ・長寿命化対策工事（布田・調布ヶ丘地区） 人孔蓋交換220基 管路対策工事0.8km ○次期下水道総合計画策定 ○地震対策の推進・管路耐震診断	○下水道施設の計画的・効率的な維持管理 ・ストックマネジメント計画策定 ・長寿命化対策工事（布田・調布ヶ丘地区） 人孔蓋交換94基 ○次期下水道総合計画（下水道ビジョン）策定 ○地震対策の推進 ・管路耐震診断 4.6km
	事業費（千円）	517,083	532,717	312,782
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

30 平和・国際交流施策の推進			
主管課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課		
主管課長名	佐々木 淳	電話番号	042-481-7541
関係課名 (組織順)	福祉総務課, 公民館, 図書館, 郷土博物館		
目的	対象	市民	
	意図	平和の尊さを理解し、後世に語り継いでいく 多様な文化が尊重される, 多文化共生を推進する	
施策の方向	市民一人一人が、国際交流を通じた相互の理解を深める中で、多様な文化が尊重され、平和に暮らすことができる共生のまちづくりを進めます。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和2年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
<p align="center">施策における2つのアクション (①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)</p>	
<p>(30-1 平和社会の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・折り鶴プロジェクト, 原爆展, 市民団体との共催による平和イベント, 各公民館での平和フェスティバル, 郷土博物館・中央図書館での平和に関する展示等, 各種平和祈念事業を実施するとともに, 平和に関する取組を掲載した情報紙「ピース・レターちょうふ」を発行し, 戦争体験の継承や平和について考える機会の提供に努めた。 ・令和元年度に引き続き広島への派遣を予定していた被爆地への中学生平和派遣事業について, 新型コロナウイルスの影響により令和2年度は派遣を中止したが, 令和元年度に派遣したピースメッセンジャーが作成したメッセージボードの市内公共施設での巡回展示や, 市民団体と共催した平和イベントにおけるピースメッセンジャーの報告会映像の上映等, ピースメッセンジャーの学びや平和への想いを広く市民に伝える取組を継続して実施した。 ・調布市国際交流平和都市宣言30周年の節目の年として, 「調布っ子“平和なまち” 絵画コンテスト」を実施し, 受賞作品を活用した啓発グッズ(クリアファイル・卓上カレンダー)を作成したほか, 4か国語に翻訳した宣言を様々な国の方々が朗読するPR映像を制作するなど, 宣言の普及啓発に取り組んだ。 	<p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和祈念事業を実施している関係部署(文化生涯学習課, 福祉総務課, 公民館, 郷土博物館, 図書館)で平和事業連絡会を2回開催し, 情報共有を行うとともに, 事業間の連携や平和施策全体の効果的な展開に向けた意見交換を行った。 ・調布市国際交流平和都市宣言30周年事業では, 調布市国際交流協会(CIFA)との連携の下, 宣言の啓発グッズ及びPR映像を制作し, 平和施策と国際交流施策との連動による効果的な宣言の普及啓発を図った。 ■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」 ・平和ブースの出展を予定していた東京2020大会関連イベントは新型コロナウイルス感染症の影響により延期・中止となったが, 各種平和祈念事業を実施する中で, オリンピックの理念に通じる平和の尊さや大切さを考える機会の創出を図った。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調布市では, 昭和58年に市議会による「調布市非核平和都市宣言」, 平成2年に市による「調布市国際交流平和都市宣言」を行っており, 両宣言の理念に基づき, 各種平和祈念事業を展開している。令和2年度は, 国際交流平和都市宣言30周年として, CIFAとの連携により, 宣言の普及啓発に取り組んだ。
<p>(30-2 国際交流と多文化共生の促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CIFAでは, 4月・5月の緊急事態宣言中, 文化会館たづくりが利用停止となったことに伴い, オンラインでの日本語学習支援を試行的に開始した。施設利用再開後も対面での学習に不安を感じている会員への対応として, 正式にオンライン学習を導入した。また, 交流事業については, 新型コロナウイルスの影響により, 中止となった事業も複数あったが, 定例サロン活動や文化交流活動ではオンラインの活用など工夫を凝らしながら, 積極的に交流イベントに取り組み, 参加者同士の交流はもとより, 日本文化やそれぞれの国の文化の相互理解の促進を図った。 ・市とCIFAの共催事業である国際理解講座, パスツアーについては中止としたが, 留学生が講師となって挨拶や道案内などを学びながら交流を深める「外国人留学生と楽しく交流」を前期と後期の2回, それぞれ英語と中国語の2か国語で実施した。 ・ホストタウンであるサウジアラビア王国との交流であるアラブイスラーム学院訪問やアラビア語講座, サウジアラビア文化展・講演会等については, 新型コロナウイルスの影響により中止としたが, サウジアラビア王国大使館文化部との連携により, 市とサウジアラビアとの交流の歴史やサウジアラビア文化の紹介を掲載したPR冊子を作成した。 ・調布市国際交流平和都市宣言30周年記念事業として, CIFA及びサウジアラビア王国大使館文化部との連携の下, 4か国語に翻訳した国際交流平和都市宣言を様々な国の方々が朗読するPR映像を制作し, 宣言の普及啓発に取り組んだ。 	

①横断的連携による施策の推進

- ・C I F Aでは、日本語が不自由なために行政等の手続きが行えない外国人に対し、行政又は外国人個人からの依頼を受け、通訳・翻訳ボランティアの派遣を行い、外国人市民が地域で安心して暮らしていけるよう支援した。
- ・東京都国際交流委員会が主催した「多言語翻訳シミュレーション」にC I F Aの通訳・翻訳ボランティアが参加し、風水害時の情報の翻訳訓練を実施し、災害時の多言語対応等についての技能の維持向上を図った。

■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」

- ・日本郵便株式会社との連携の下、サウジアラビア王国大使館文化部の協力により、ホストタウンであることを記念したオリジナルフレーム切手を作成した。
- ・東京2020大会に向け、来日する外国人を調布の地でおもてなしできるよう、小学生が実践の場で使える英語を学ぶ小学生英語体験事業は、新型コロナウイルスの影響により中止とした。C I F Aでは第四中学校に外国人会員を講師として派遣し、「豊かな国際感覚を身につける」をテーマとした授業を行い、国際交流や異文化理解の促進を図った。

②調布のまちの魅力発信

- ・2002年サッカーワールドカップ日韓大会以降、様々な事業・イベントを通じてサウジアラビア王国との交流を継続し、東京2020大会に向け調布市が同国のホストタウンとして承認され、交流をさらに発展させている。

<令和2年度における施策の成果についての総括>

- ・平和施策については、「調布市非核平和都市宣言」及び「調布市国際交流平和都市宣言」の理念に基づき、庁内関係部署や市民団体等が連携しながら、コロナ禍においても各種平和祈念事業を展開し、市民に平和について考える機会を提供した。

- ・令和元年度から基本計画に継続事業として位置付けた被爆地への平和派遣事業は、令和2年度は派遣を中止としたが、令和元年度に広島に派遣したピースメッセンジャーが作成したメッセージボードの市内公共施設での巡回展示や、市民団体と共催した平和イベントにおけるピースメッセンジャーの報告会映像の上映など、ピースメッセンジャーの学びや平和への想いを広く市民に伝える取組を継続して実施した。

- ・調布市国際交流平和都市宣言30周年として、C I F A及びサウジアラビア王国大使館文化部との連携の下、「調布っ子“平和なまち” 絵画コンテスト」を実施し、受賞作品を活用した啓発グッズを作成したほか、4か国語に翻訳した宣言を様々な国の方々が朗読するPR映像を制作するなど、平和施策と国際交流施策との連動による効果的な宣言の普及啓発を図った。

- ・国際交流施策については、C I F Aとの連携により、オンラインの活用など工夫を凝らしながら、各種交流事業や日本語学習の機会を提供するなど、外国人に対しての支援や市民の国際交流及び多文化共生の促進を図った。

- ・ホストタウンであるサウジアラビア王国との交流としては、交流イベントは開催できなかったものの、ホストタウンフレーム切手の作成やサウジアラビアとの交流の歴史やサウジアラビア文化の紹介を掲載したPR冊子の制作を通じて、市民がサウジアラビア王国の魅力やアラビア文化に触れる機会の創出を図った。

まちづくり指標	基準値 (基準年度)	単位	実績値		目標値
			令和元年度	令和2年度	令和4年度
1 戦争についての話をしたり、聞いたりしたことがある市民の割合	84.9 (H30)	%	83.6	79.8	90.0
2 国際交流・多文化共生事業の参加者数	2,482 (H29)	人	2,986	338	3,000

【特記事項】

- ・国際交流・多文化共生事業の参加者数の実績値の大幅減少については、新型コロナウイルスの影響による各種事業の中止等によるところが大きい。

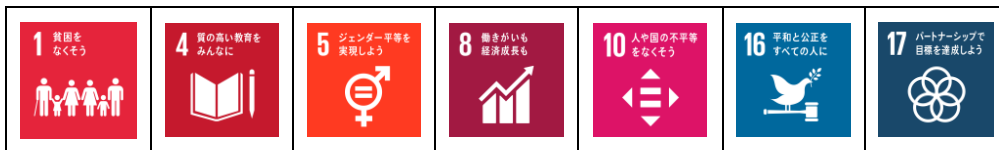
2 基本計画事業取組実績

計画コード	95	重点P	—	—
事務事業	平和祈念事業の実施			
所管部署	生活文化スポーツ部・文化生涯学習課・文化生涯学習係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○平和の尊さを訴え、次世代に引き継ぐための平和祈念事業の実施 ○市内平和事業連絡会を活用し、幅広い平和事業を展開 ○戦争体験の継承	○各種平和祈念事業の実施 ○被爆地への派遣事業の実施 (国際交流平和都市宣言30周年)(戦後75年)	○各種平和祈念事業の実施 ・ピースレターちょうふ発行 ・原爆展開催 ・戦争体験映像記録作成 ・折り鶴プロジェクトの実施 ○被爆地への派遣事業の実施 ○国際交流平和都市宣言普及啓発 (国際交流平和都市宣言30周年)(戦後75年)	○各種平和祈念事業の実施 ・ピースレターちょうふ発行 ・原爆展開催 ・折り鶴プロジェクト実施 ○被爆地への派遣事業 ・成果物等の巡回展示 ○国際交流平和都市宣言の普及啓発 ・絵画コンテストの実施 ・宣言PR映像の制作
		事業費(千円)	3,353	4,253
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

計画コード	96	重点P	—	—
事務事業	国際交流の促進			
所管部署	生活文化スポーツ部・文化生涯学習課・文化生涯学習係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○外国人が地域で生活していけるように日本語習得等を支援する ○外国人と日本人が共に暮らしていける地域社会づくりを進める ○市民の多様な文化への理解を促進する	○英語体験事業の実施 ○国際交流事業の推進 ・東京2020大会等の機会をとらえた各種イベントの開催、ホストタウン事業の展開	○英語体験事業の実施※ ○国際交流事業の推進 ・東京2020大会等の機会をとらえた各種イベントの開催、ホストタウン事業の展開	○国際交流事業の推進 ・国際交流協会と連携した各種事業の展開 ・サウジアラビアとの交流PR冊子の制作
		事業費(千円)	24,697	25,351
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

31 人権の尊重・男女共同参画社会の形成			
主管課名	市民部 市民相談課		
主管課長名	花岡 裕	電話番号	042-481-7031
関係課名 （組織順）	総務課, 人事課, 文化生涯学習課, 協働推進課, 男女共同参画推進課, 産業振興課, 子ども政策課, 福祉総務課, 生活福祉課, 高齢福祉担当, 障害福祉課, 健康推進課, 指導室		
目的	対象	市民・事業所	
	意図	人権の大切さについて理解を深め、一人一人の人権を尊重する 男女が互いを理解し、尊重し、性別にとらわれることなく、能力、個性を發揮できる	
施策の方向	市民一人一人が、個人の能力、環境、個性について偏見を持つことなく、理解を深める中で人権が尊重され、性別に関わりなく男女が社会のあらゆる分野で対等なパートナーとして理解し合い、能力、個性を發揮できる社会の実現を目指します。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和2年度の振り返り — 取組実績（DO）

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）	
(31-1 人権尊重の社会づくり)	<p>・人権擁護委員による啓発活動や人権身の上相談は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、全て中止となったが、市は、12月の人権週間に合わせ、市民ロビーに啓発コーナーを設け、啓発物品を配布した。</p> <p>・男女共同参画推進センターでは、男女が互いに人権を尊重する意識の醸成を図るため、講座や展示等を実施した。</p> <p>・DV防止に向けた意識啓発として、パープルリボンの配布や文化会館たづくりでの展示、ワークショップ等を実施した。</p> <p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>・DV防止に向けた啓発事業は、密接な関係がある児童虐待防止の「オレンジリボンキャンペーン」と連携して実施した。啓発物の配布・配架等には、相互友好協力協定締結大学や市内事業所にも協力いただいた。</p> <p>・若年層に対するDV防止に向けた啓発として、市立中学校2校で3年生を対象にデートDV防止の出前講座を実施した。</p> <p>■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」</p> <p>■連携テーマ4 「パラリンピックレガシーの創出」</p> <p>・多様な性の尊重についての意識向上を目的として、LGBTへの理解を深める情報紙を作成し、職員向けに配信した。</p> <p>②調布のまちの魅力発信</p> <p>・人権擁護委員と連携し実施を予定していた、多文化共生をテーマとした事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。</p>
(31-2 男女共同参画社会の実現)	<p>・女性が直面する諸問題の解決支援のため、面接相談、電話相談及びグループ相談を実施した。</p> <p>・女性活躍推進法に基づく取組として、市内で自分らしく働く女性を市報・市ホームページで紹介した。</p> <p>・政策決定過程への女性参画促進のため、庁内において審議会等における女性委員比率を検証するチェックリストの周知・運用を図った。</p> <p>・女性職員の活躍推進等の取組として、メンター相談制度やナイスボス・グッドパートナー研修、女性のためのキャリア開発セミナーなどの各種研修を実施した。</p> <p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>・市民との協働により実施した男女共同参画推進フォーラムでは、9団体が参加・協力し、236人が参加した。</p> <p>・市内の女子大学において、センターの相談員による女性の「キャリア研究」についての講演を実施した。</p> <p>・産業労働支援センターと連携し、女性のための起業セミナー「得意と好きで自分を生きる職業人になろう」を開催した。</p> <p>■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」</p> <p>■連携テーマ4 「パラリンピックレガシーの創出」</p> <p>・バリアがない共生社会の実現のため、男女共同参画の視点から、多様な啓発事業を実施した。</p> <p>②調布のまちの魅力発信</p> <p>・女性職員の活躍をより一層推進する観点も踏まえて取り組んでいる「働き方改革」について、特別区人事委員会事務局主催の「労働安全衛生講演会」で市における取組事例を紹介した。</p>

<令和2年度における施策の成果についての総括>

- ・人権擁護委員による啓発活動や人権身の上相談は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から全て中止となったが、市は、12月の人権週間に合わせ、市民ロビーに啓発コーナーを設けるなど、可能な啓発活動に努めた。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、男女共同参画推進センターの利用者や男女共同参画推進フォーラムの参加者は前年度よりも大幅に減少した一方で、可能な範囲内で事業を実施したことで、市民に対する男女共同参画について考える機会の提供に寄与した。また、近隣自治体の多くが相談事業を中止する中、女性支援の観点から、女性のための相談は可能な限り継続した。
- ・DV防止に向けた啓発事業について、児童虐待防止キャンペーンと連携して実施するとともに、市内事業者にも協力いただき、より効果的かつ広範囲にDV未然防止の啓発を実施した。
- ・チェックリスト等を運用し、政策決定過程への女性参画の促進に努めた中で、審議会等における女性委員比率は微増となった。
- ・各種研修を通じた職員の意識改革に加え、メンター相談制度の継続実施、職員のワーク・ライフ・バランスの推進などの様々な取組により、女性職員が活躍できる職場環境の整備を推進することができた。

まちづくり指標	基準値 (基準年度)	単位	実績値		目標値 令和4年度
			令和元年度	令和2年度	
1 人権教育・啓発事業への参加者数（目標値は令和元～4年度の4箇年累計）	7,648 (H29)	人	8,461	1,681	3万 1,000
2 市の審議会や委員会における女性の割合	31.6 (H30)	%	31.6	31.7	40.0

【特記事項】人権教育・啓発事業への参加者数の減少については、新型コロナウイルス感染拡大の影響による事業の中止等によるものである。

2 基本計画事業取組実績

計画コード	97	重点P	—	—
事務事業	男女共同参画啓発・相談事業の実施			
所管部署	生活文化スポーツ部・男女共同参画推進課・男女共同参画推進係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○男女共同参画を推進するための事業の実施 ○男女共同参画に関する情報提供 ○市民・団体との協働事業の実施 ○女性のための相談事業の実施 ○男女共同参画コーディネーターの充実	○意識啓発事業の実施 ○市民・団体との協働事業の実施 ○女性のための相談事業の実施 ○男女共同参画コーディネーターの設置 ○女性活躍推進事業の実施	○意識啓発事業の実施 ○市民・団体との協働事業の実施 ○女性のための相談事業の実施 ○男女共同参画コーディネーターの設置 ○女性活躍推進事業の実施	○意識啓発事業の実施 ○市民・団体との協働事業の実施 ○女性のための相談事業の実施 ○男女共同参画コーディネーターの設置 ○女性活躍推進事業の実施
	事業費 (千円)	16,005	15,852	13,790
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0